

はじめに

中部電力グループは、2022年に公表した中期経営計画において、経営ビジョン2.0までの中間地点として2025年度をターゲットとした中期経営目標を定めております。2年目となる2023年度は、**中部電力パワーグリッドにおける需給調整費用の減少や中部電力ミライズにおける電源調達価格の低下等**により、**3,710億円程度の連結経常利益***となりました。

しかし、資源価格や制度の見直し等、**不透明な事業環境が継続していることや、昨年度の利益には一時的な押し上げ要因も含まれるなど、予断を許さない状況にあります。**また、**カーボンニュートラルの実現、循環型経済への移行、地域課題の解決といった多様化するお客さま・社会のニーズや、PBR向上といった資本市場の要請に、着実にお応えしていく必要があります。**

当社グループは**これら環境変化に対し、ステークホルダーの皆さまへの価値提供を最大化すべく、成長に向けた取り組みを転換し、加速**させていきます。

良質なエネルギーを安全・安価で安定的にお届けする「**変わらぬ使命の完遂**」に向け、DXを推進し、地域特性に応じた最適な設備構築など**新たな時代の安定供給**を実現するとともに、**発電分離体制の強み**を活かしながら**環境変化に機動的に対応**いたします。

また、**再生可能エネルギー電源の開発・拡大、安全確保と地域の皆さまのご理解を大前提とした浜岡原子力発電所の再稼働、お客さまへの省エネ・電化に資するご提案など、需給両面から脱炭素化を進めることに加え、グローバル事業を通じて世界的な脱炭素化**にも貢献してまいります。

さらに、**お客さまの暮らしを豊かにするサービスのお届けや、地域の課題解決と活性化への貢献など、「新たな価値の創出」**を目指してまいります。

これらの取り組み実現には**経営基盤の強化**が欠かせません。**資本コストを意識した経営の実現や人的資本のさらなる価値向上、コンプライアンスのさらなる徹底**などの取り組み強化に努めてまいります。

当社グループは、お客さまや株主・投資家、地域社会、ビジネスパートナー、従業員など**ステークホルダーの皆さまとともに成長し、持続可能な社会の発展に貢献していくことが企業価値向上に繋がると考えており、今回、新たな決意として、中期経営目標を「連結経常利益2,000億円以上、ROIC* 3.2%以上」**に引き上げることいたしました。

引き続き、その先にある経営ビジョン2.0の着実な実現に向け、グループ一丸となって取り組みを進めてまいります。



2024年4月
代表取締役社長 林 欣吾
社長執行役員

ステークホルダーの皆さまが求める価値のお届けに向けて

- 中部電力グループは、GX・DXの一層の進展やお客さまニーズ・制度・競争環境の変化等を好機と捉え、ステークホルダーの皆さまのご期待に着実にお応えすることで、成長し続ける企業グループを目指し、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

